

中国人の訪日旅行事情

岡山県上海事務所 専任スタッフ 馬小琳

(日中経済貿易センター上海事務所)

中国人の海外旅行

我々中国人にとって、外国への旅行は遥かな夢でしたが、中国の経済発展に伴い、多くの中国人が以前より裕福になり、海外に行ける経済力を備えるようになりました。中国人の多くは、観光資源やサービスがまだ少ない中国国内よりも海外旅行に興味を持っています。

世界旅游組織のデータによると、2013年の中国人の海外旅行者数は1億人を超え、世界の海外旅行送客国となりました。同時に海外旅行時の現地消費額でも中国人海外旅行者は1,020億米ドルと、米国とドイツを抜き世界一になりました。10年前、中国は海外旅行消費額の世界シェアで1%にすぎませんでしたが、2023年には20%まで伸びる見込みです。また、今後10年間で中国人海外旅行者数は倍増すると予測されています。

中国人の好きな海外旅行先

中国人の好きな海外旅行先は、欧米、東南アジア、日本、韓国などの国々です。ビザや言葉の問題なども旅行先決定の要因となります。現在、中国人観光客はタイに行く際、ビザが免除されています。韓国の済州島もビザが免除されています。2013年に韓国を訪問した中国人観光客は400万人に上り、2014年も40%の伸び率を維持しています。

日本も中国人観光客にとって重要な旅行先です。日本には多くの観光資源があります。清潔

で美しい環境、良好な治安などが中国人観光客を引き付けています。また、日本は漢字が通じる国であり、言葉がわからなくても多少の交流であれば問題ありません。食文化も中国に似ているので、中国人観光客にとって旅行満足度が高く、リピーターも多いのです。

訪日中国人観光客の消費動向

2014年の国慶節の大型連休期間中、中国からの訪日客は2013年より大幅に伸びました。円安のおかげで中国人にとって日本での買い物がとてもお得になりました。免税商品の種類増加も中国人観光客を引き付ける一要因です。免税商品は家電や服だけでなく、化粧品、食品などの分野まで拡大し、お土産の日本酒や地方特産品も免税対象となりました。買い物は中国人観光客の主な目的の一つです。日本製の精密な電気製品、生活用品、食品及び化粧品は中国人にとって大変人気があり、各免税店、ドラッグストア、100円ショップなどの商品が中国人観光客を引き付けます。

訪日中国人観光客数

2006年12月に成立した日本の「観光立国推進基本法」に伴い、この数年、訪日中国人観光客がどんどん増えています。2012年9月に政治的原因で日中関係が悪化し、中国人観光客は激減しましたが、2013年9月から中国人観光客数は13ヶ月連続で記録を更新しました。2014年1

月～8月の統計で、中国人観光客数は154万人に達し、2012年の過去最高記録の142万人を既に超えました。中国人観光客の増加は日中間の航空路線と航空便の増加を促進しました。中国春秋航空は上海と茨城、佐賀、高松などの間で運行しており、日本各地へ多くの中国人観光客を運びました。2014年は、中国から年間200万人の観光客が訪問すると予測されています。

沖縄及び東北三県数次ビザ

中国人にとって、日本のビザ申請手続は、タイや韓国に比べると煩雑ですが、2011年から、個人観光で沖縄を訪問する中国人に対して、一定の要件を満たす場合に3年間有効な数次ビザを発給できるようになりました。また、2012年からは東北三県（岩手県、宮城県、福島県）を個人観光で訪問する中国人に対して同様の数次ビザを発給しています。数次ビザにより、3年間で何回でも日本への旅行が可能（1回の滞在期間は90日以内）となっています。今後、訪日ビザの条件をもっと緩和すれば、日本に旅行に行く中国人がさらに増え、日中間の友好交流が深まり、中国人観光客により日本各地の経済も発展するでしょう。

(2014年10月)